



# 平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 自重堂

コード番号 3597 URL <http://www.iichodo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 出原 正貴

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部本部長

(氏名) 谷口 郁志

TEL 0847-51-8111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年6月期第2四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	9,307	12.8	1,473	83.9	1,341	365.9	626	522.7
23年6月期第2四半期	8,249	△2.9	800	△10.8	287	△71.1	100	△82.4

(注) 包括利益 24年6月期第2四半期 533百万円 (86.4%) 23年6月期第2四半期 285百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	40.67	—
23年6月期第2四半期	6.13	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第2四半期	32,707	22,654	69.3
23年6月期	33,119	22,661	68.4

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 22,654百万円 23年6月期 22,661百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	35.00	35.00
24年6月期	—	0.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	6.5	2,300	35.2	2,000	36.9	1,000	17.8	64.91

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期2Q	17,653,506 株	23年6月期	17,653,506 株
② 期末自己株式数	24年6月期2Q	2,247,250 株	23年6月期	2,245,274 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期2Q	15,407,099 株	23年6月期2Q	16,410,702 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。  
詳細は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(7) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災後の復興努力によるサプライチェーンの急速な復旧を受け、徐々に回復の兆しを見せつつあるものの、原発事故に伴う電力不足や、米国経済の停滞、欧州諸国の財政危機への不安による円高の進行などにより、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループにおいては、電力不足に伴う節電意識の高まりを受け、クールビズ関連商品を積極的に展開し、売上の拡大に努めました。また、企業広告として、基幹ブランドの「Jichodo」（ジチョウドウ）に代表取締役会長「出原群三」（いではらぐんぞう）を起用し、次世代戦略ブランド「Jawin」（ジャウイン）ではブランド広告に、カリスマ総合格闘家の「桜庭和志」（さくらばかずし）選手、キックボクサーの「HIROYA」（ヒロヤ）選手を起用いたしました。これらのメッセージデザインを中心に、働く人を応援する様々なコンテンツを創生し、TVCMをはじめ、新聞広告、雑誌広告、交通広告、店頭販促、WEBサイトなどクロスメディア展開により、大々的にキャンペーンを実施し、企業イメージの向上、ブランド認知度の向上による売上・市場シェアの拡大を図ってまいりました。

利益面においては、原油価格の高止まりに伴う原材料費の上昇や、生産国である中国や東南アジアでの人件費の上昇などによる製造コストの上昇を受け、生産工場の見直しや、更なる経費削減などコストダウンに努力するとともに、代理店・ユーザーの皆さまに販売価格の値上げをお願いし、利益率の改善を図りました。

生産面では、特にユニフォーム部門において、昨年、中国の工場における工具不足から生産スペースが逼迫し、商品の品切れが多発したことによりお客様に多大なご迷惑をお掛けしたことを反省し、「揃わなければユニフォームではない」という基本にたちかえり、販売機会ロスを低減するため生産体制の見直しを進めて在庫の積み増しを行い、商品の備蓄力、供給力の強化を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は9,307百万円（前年同四半期比12.8%増）と販売価格の値上げ及び値上げ前の前倒し需要などにより大きく増加いたしました。利益面においては、売上の増加及び値上げによる利益率の改善により、営業利益は1,473百万円（前年同四半期比83.9%増）、経常利益は1,341百万円（前年同四半期比365.9%増）、四半期純利益は626百万円（前年同四半期比522.7%増）となり、当第2四半期累計期間は増収増益となりました。

なお、当社グループは単一セグメントに該当するため、セグメント情報は記載しておりません。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ411百万円減少し、32,707百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,100百万円増加し、22,328百万円となりました。これは主に、商品及び製品が3,710百万円増加したことと、現金及び預金が2,190百万円、流動資産その他が111百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,512百万円減少し、10,378百万円となりました。これは主に、投資有価証券が1,500百万円減少したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ795百万円減少し、7,166百万円となりました。これは主に、未払法人税等が170百万円、流動負債その他が118百万円増加したことと、支払手形及び買掛金が917百万円、賞与引当金が145百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ390百万円増加し、2,886百万円となりました。これは主に、固定負債その他が374百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ7百万円減少し、22,654百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、前連結会計年度より2,090百万円減少し、5,400百万円（前連結会計年度比27.9%減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は3,285百万円（前年同期は1,046百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,186百万円、投資有価証券評価損154百万円等による増加と、賞与引当金の減少145百万円、デリバティブ評価益101百万円、たな卸資産の増加3,571百万円、仕入債務の減少917百万円、法人税等の支払額272百万円等による減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は1,777百万円（前年同期は245百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入107百万円、投資有価証券の売却による収入1,190百万円等による増加と、投資有価証券の取得による支出110百万円等による減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は541百万円（前年同期は1,529百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額538百万円等による減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期末以降の経済動向並びにその業績に与える影響が依然として不透明ではありますが、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を踏まえ、平成23年8月9日の「平成23年6月期決算短信」で発表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成24年2月8日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,613,229	5,422,255
受取手形及び売掛金	5,534,601	5,471,565
有価証券	143,762	121,231
商品及び製品	5,801,220	9,511,993
仕掛品	103,001	59,735
原材料及び貯蔵品	1,442,918	1,347,388
繰延税金資産	163,376	73,827
その他	455,930	344,148
貸倒引当金	△29,982	△23,607
流動資産合計	21,228,058	22,328,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,442,130	2,363,797
土地	3,886,297	3,886,297
その他（純額）	180,091	179,049
有形固定資産合計	6,508,519	6,429,143
無形固定資産		
投資その他の資産	38,240	34,836
投資有価証券	4,568,026	3,067,533
繰延税金資産	221,872	248,800
その他	675,166	723,410
貸倒引当金	△120,580	△124,858
投資その他の資産合計	5,344,484	3,914,886
固定資産合計	11,891,244	10,378,867
資産合計	33,119,302	32,707,406

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,944,598	6,027,103
未払金	352,072	323,425
未払法人税等	264,993	435,135
返品調整引当金	64,471	72,113
賞与引当金	166,997	21,737
その他	168,718	287,187
流動負債合計	7,961,851	7,166,702
固定負債		
退職給付引当金	332,083	347,809
その他	2,163,372	2,538,317
固定負債合計	2,495,455	2,886,127
負債合計	10,457,307	10,052,829
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,982,499	2,982,499
資本剰余金	1,827,562	1,827,562
利益剰余金	19,636,130	19,723,441
自己株式	△1,899,917	△1,901,138
株主資本合計	22,546,275	22,632,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	119,215	47,323
繰延ヘッジ損益	△3,494	△25,112
その他の包括利益累計額合計	115,720	22,210
純資産合計	22,661,995	22,654,576
負債純資産合計	33,119,302	32,707,406

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	8,249,962	9,307,974
売上原価	5,705,471	6,095,793
売上総利益	2,544,490	3,212,181
販売費及び一般管理費	1,743,615	1,739,142
営業利益	800,875	1,473,038
営業外収益		
受取利息及び配当金	49,684	43,413
受取賃貸料	48,271	34,175
業務受託料	9,460	37,819
デリバティブ評価益	—	101,763
その他	53,165	74,930
営業外収益合計	160,582	292,103
営業外費用		
賃貸収入原価	24,931	22,083
為替差損	204,517	256,857
デリバティブ評価損	437,082	—
有価証券売却損	—	123,832
その他	6,978	20,738
営業外費用合計	673,510	423,512
経常利益	287,947	1,341,629
特別利益		
固定資産売却益	5,664	—
特別利益合計	5,664	—
特別損失		
固定資産除売却損	—	695
投資有価証券評価損	55,731	154,080
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,210	—
特別損失合計	67,942	154,776
税金等調整前四半期純利益	225,670	1,186,853
法人税、住民税及び事業税	30,093	428,530
法人税等調整額	94,948	131,723
法人税等合計	125,042	560,254
少数株主損益調整前四半期純利益	100,628	626,599
四半期純利益	100,628	626,599

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	100,628	626,599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	188,249	△71,891
繰延ヘッジ損益	△2,905	△21,618
その他の包括利益合計	185,344	△93,509
四半期包括利益	285,972	533,089
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	285,972	533,089

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	225,670	1,186,853
減価償却費	96,753	91,672
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	31,083	△2,097
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△152,218	△145,259
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△5,027	7,642
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△9,229	15,725
受取利息及び受取配当金	△49,684	△43,413
投資有価証券評価損益 (△は益)	55,731	154,080
デリバティブ評価損益 (△は益)	437,082	△101,763
売上債権の増減額 (△は増加)	456,372	63,035
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△534,373	△3,571,976
仕入債務の増減額 (△は減少)	770,049	△917,495
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,210	—
その他	199,221	205,276
小計	1,533,642	△3,057,720
利息及び配当金の受取額	50,447	44,729
法人税等の支払額	△537,308	△272,494
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,046,781</b>	<b>△3,285,485</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△7,480	△7,480
定期預金の払戻による収入	7,480	107,480
有形固定資産の取得による支出	△8,538	△6,105
有形固定資産の売却による収入	14,310	—
無形固定資産の取得による支出	△7,500	—
投資有価証券の取得による支出	△307,337	△110,312
投資有価証券の売却による収入	—	1,190,373
投資有価証券の償還による収入	29,965	26,941
その他	33,763	576,403
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△245,337</b>	<b>1,777,300</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△950,013	△1,577
自己株式の売却による収入	—	357
配当金の支払額	△578,250	△538,440
リース債務の返済による支出	△1,470	△1,764
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,529,734</b>	<b>△541,424</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△204,517</b>	<b>△41,364</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△932,807	△2,090,973
現金及び現金同等物の期首残高	9,270,826	7,491,549
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,338,018	5,400,575

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間（自平成22年7月1日至平成22年12月31日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成23年7月1日至平成23年12月31日）

当社グループは、衣料品製造販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（7）重要な後発事象

該当事項はありません。